

問1 徳島県と香川県を結ぶ道路の建設予定地周辺など、四国地方においても複数の「前方後円墳」を含む古墳群が確認されています。このように、近畿地方を拠点とする勢力が採用した墓の形式が全国各地へ広まった事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。

(2023年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|--|
| 1. 遣唐使によってもたらされた国風文化が、地方の豪族の間で流行していたこと | 2. 近畿地方を拠点とする大和政権の政治的な影響力が、地方へと及んでいたこと | 3. 多賀城を中心とした東北地方の勢力が、全国を統一する力を持っていたこと | 4. 仏教の伝来により、古墳に代わって大規模な寺院が地方に建立され始めたこと |
|--|--|---------------------------------------|--|

問2 4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住し、漢字や儒教、仏教などの大陸文化や、優れた製作技術を伝えた人々を何と呼びますか。

(2021年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 遣隋使 | 2. 渡来人 | 3. 御家人 | 4. 防人 |
|--------|--------|--------|-------|

問3 古墳時代の大仙古墳やその出土品について述べた文章として、正しいものを1つ選びなさい。

(2026年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 大仙古墳は弥生時代に造られた日本最大級のお墓である。 | 2. 大仙古墳は前方後円墳と呼ばれる形状を持ち、周囲には埴輪が並べられた。 | 3. 大仙古墳からは、副葬品として縄文時代と同じ土偶が出土している。 | 4. 大仙古墳などの副葬品には金属器は含まれず、土器のみが納められた。 |
|-------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|

問4 群馬県の綿貫観音山古墳から出土した資料などに見られる、灰色で硬く焼き締められた土器の製作上の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。

(2021年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた | 2. 日本列島で古くから用いられてきた伝統的な技法で、野外で比較的低い温度で焼かれた | 3. 中国大陸の青銅器の影響を強く受け、表面に複雑な幾何学文様を彫り込んで焼かれた | 4. 稲作が普及し始めた時期に、表面に縄目の文様をつけてから乾燥させて焼かれた |
|--|--|---|---|

問5 大陸から漢字、儒教、仏教などが伝えられた時期の日本において、新たに生産が始まった須恵器の特徴とその背景について述べた説明として、正しいものはどれか。

(2023年 高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 国内の農民が独自に技術を開発し、「千歯こき」を用いて土を精製することで作られた。 | 2. 中国からの使者が技術を伝え、平らな地面に薪を積み上げる「野焼き」によって低温で焼成された。 | 3. 朝鮮半島から来た渡来人が技術を伝え、山の斜面を利用した「登り窯」で高温で焼成された。 | 4. 弥生時代からの伝統的な製法を守り、稲作の普及とともに東日本を中心に広まった。 |
|---|--|---|---|

問6 古墳時代から奈良時代にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、当時の日本に新しい文化や技術を伝えた人々を何と呼びますか。

(2023年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 1. 防人 | 2. 遣唐使 | 3. 南蛮人 | 4. 渡来人 |
|-------|--------|--------|--------|

問7 古墳時代に、前方後円墳という特定の形式が日本各地の有力者の墓として採用されたことは、当時の政治状況においてどのようなことを意味していますか。

(2018年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 大陸から伝来した仏教に基づき、全国一斉に寺院の建立が始まったこと | 2. 各地の豪族が独自の宗教観に基づき、異なる形式の墓を競って造ったこと | 3. 狩猟・採集中心の生活から、稲作を中心とする社会へ移行し始めたこと | 4. 近畿地方のヤマト政権（大和朝廷）の影響力が各地に及んでいたこと |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|

問8 5世紀ごろに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、このような大規模な墳墓が築かれた歴史的な背景として最も適切な説明はどれか。

(2020年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 大陸から伝わった稲作の技術を普及させるために、神を祀る祭祀場を各地に作ったため。 | 2. 各地域の小国が、他国からの侵略を防ぐための軍事的な要塞として築いたため。 | 3. ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。 | 4. 仏教の伝来とともに、死者を弔うために巨大な寺院を建てる習慣が広まったため。 |
|---|---|---|--|

問9 埼玉県にある稲荷山古墳からは、表面に文字が刻まれた金錯銘鉄剣が出土しました。この鉄剣に刻まれている「ワカタケル大王」という人物は、当時の中国の歴史書に記されている「倭の五王」のうちの誰を指すとされていますか。

(2017年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1. 済（せい） | 2. 興（こう） | 3. 珍（ちん） | 4. 武（ぶ） |
|----------|----------|----------|---------|

問10 古墳時代の日本において、朝鮮半島から伝えられた技術によって作られるようになった、高温で焼成される灰色の硬い土器を何と言いますか。

(2023年 新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|-------|---------|---------|
| 1. 須恵器 | 2. 埴輪 | 3. 弥生土器 | 4. 縄文土器 |
|--------|-------|---------|---------|

問11 5世紀頃、大和政権の王（倭の五王）が中国の南朝へ繰り返し使者を送った主な目的として、最も適切な説明はどれか。

(2020年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 朝鮮半島南部における軍事的な指揮権を認めさせ、鉄資源の確保などの面で他国より優位に立つため。 | 2. 隋に対して対等な立場での外交を求め、小野妹子を派遣して中国の進んだ律令制度を学ぶため。 | 3. 唐の勢力拡大に対抗するため、朝鮮半島の百済や新羅と結んで軍事同盟を強化するため。 | 4. 中国の北朝から公式に仏教を取り入れることで、鎮護国家の思想に基づいた国づくりを行うため。 |
|---|--|---|---|

問12 航空写真などの上空からの視点で見ると、前方部が方形（四角形）、後方部が円形をしており、全体として巨大な鍵穴のような形状をしている日本独自の古墳の名称として適切なものはどれか。

(2020年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|----------|--------|-------|
| 1. 円墳 | 2. 前方後円墳 | 3. 八角墳 | 4. 方墳 |
|-------|----------|--------|-------|

問13 大和政権の時代、大陸から移住してきた渡来人がもたらした技術や文化について述べたものとして、最も適切なものはどれか。

(2023年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 九州沿岸を守るために配置された防人による防衛の仕組み | 2. 唐の法律にならって作られた大宝律令などの統治制度 | 3. 遣隋使によって直接もたらされた、隋の進んだ政治制度 | 4. 金属を精錬する技術や、高温で焼いて作る硬い土器である須恵器の製作技術 |
|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------|---------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 近畿地方を拠点とする大和政権の政治的な影響力が、地方へと及んでいたこと	古墳時代、近畿地方に拠点を置いた大和政権（ヤマト王権）は、各地の豪族と政治的な同盟を結んだり、支配下に置いたりすることで勢力を拡大しました。前方後円墳という特定の形式の古墳が各地に築かれたことは、その地域の豪族が大和政権の支配体制や序列に組み込まれたことを象徴しています。多賀城は奈良時代の東北経営の拠点であり、国風文化は平安時代の中期に発達した文化であるため、古墳時代の出来事とは異なります。
問2	答え 2 渡来人	朝鮮半島での動乱などを背景に、優れた技術や知識を持つ人々が日本列島へ渡ってきました。彼らは大和政権に仕え、文字（漢字）の記録や外交、土木技術、金属工芸などの分野で重要な役割を果たし、日本の古代国家形成に大きな影響を与えました。
問3	答え 2 大仙古墳は前方後円墳と呼ばれる形状を持ち、周囲には埴輪が並べられた。	大仙古墳は古墳時代に造られた日本最大の前方後円墳であり、その周囲には埴輪が並べられました。土偶は縄文時代の遺物であり、古墳の副葬品には銅鏡や鉄剣などの金属器も含まれます。
問4	答え 1 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた	群馬県の綿貫観音山古墳から出土したような灰色の硬質な土器は須恵器と呼ばれます。これは5世紀頃に朝鮮半島から伝来した技術で、斜面に作った穴窯を使用することで、野焼きでは不可能な1000度以上の高温状態を保って焼成されました。この製法によって粘土が焼き締まり、金属のような硬さを持つ土器が誕生しました。
問5	答え 3 朝鮮半島から来た渡来人が技術を伝え、山の斜面を利用した「登り窯」で高温で焼成された。	須恵器の生産は、大陸からの高度な技術移転の象徴です。それまでの土器が赤褐色で比較的脆かったのに対し、熱効率の良い「登り窯」を使用することで酸素を制限した還元炎焼成が可能となり、硬質の青灰色の土器が誕生しました。同時期には文字（漢字）の使用や学問（儒教）も伝えられており、大陸との交流が当時の社会制度や技術を大きく発展させたことがわかります。選択肢にある「千歯こき」は江戸時代の農具であり、時代が異なります。
問6	答え 4 渡来人	朝鮮半島での戦乱などを背景に、多くの人々が日本列島へ移住しました。彼らは、ため池を作る土木技術や金属加工、機織りなどの実習的な技術だけでなく、漢字や儒教、仏教などの思想や文化も日本に伝え、日本の社会や国家の形成に大きな役割を果たしました。
問7	答え 4 近畿地方のヤマト政権（大和朝廷）の影響力が各地に及んでいたこと	鍵穴のような特有の形状が標準化され、各地で模倣されたことは、その地域の有力者が近畿のヤマト政権と政治的な同盟関係や主従関係を結んでいたことを示しています。これにより、ヤマト政権を中心とした政治体制が広まっていったことがわかります。
問8	答え 3 ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。	大仙古墳のような巨大な前方後円墳の建設には、延べ数百万人とも言われる膨大な労働力と長い年月が必要でした。これほど大規模な墓を築くことができた事実は、被葬者である大王が近畿地方を中心として、広範囲にわたる民衆や地方の豪族を統制し、支配下に置いていたことを証明しています。
問9	答え 4 武（ぶ）	稲荷山古墳から出土した鉄剣に記された「獲加多支鹵大王（ワカタケル大王）」は、中国の歴史書『宋書』倭国伝に登場する倭王「武」と同一人物であると考えられています。武は、日本の記紀に登場する雄略天皇にあたるとされています。
問10	答え 1 須恵器	それまでの日本で作られていた赤褐色の土師器（はじき）とは異なり、朝鮮半島から伝わった「あな窯」を用いて1000度以上の高温で焼き上げる製法が特徴です。この技術は渡来人によってもたらされ、貯蔵用や儀式用の器として広く普及しました。
問11	答え 1 朝鮮半島南部における軍事的な指揮権を認めさせ、鉄資源の確保などの面で他国より優位に立つため。	5世紀の大和政権は、国内での支配力を強めるとともに、大陸から伝来する鉄資源を安定して確保しようとしていました。そのために中国の南朝（宋など）へ朝貢を行い、朝鮮半島南部における軍事的な指揮権や政治的な地位を正式に認めさせることで、周辺諸国に対して有利な立場を得ようとした背景があります。
問12	答え 2 前方後円墳	3世紀後半から6世紀にかけて、ヤマト政権の勢力下にあった地域で築かれた日本独自の形式です。大阪府の大仙古墳（伝仁徳天皇陵）に代表されるように、大規模なものは当時の有力者の権力を象徴しています。
問13	答え 4 金属を精錬する技術や、高温で焼いて作る硬い土器である須恵器の製作技術	渡来人は専門的な技術を持った集団として、大和政権下で重用されました。彼らが伝えた須恵器は、それまでの弥生土器や古墳時代の土師器（はじき）とは異なり、穴窯を用いて1000度以上の高温で焼成された青灰色の硬い土器です。また、鉄製品の加工や農具の改善なども行われ、日本の農業や生活様式に劇的な変化を与えました。